資料 2−3

第二次三沢市総合振興計画

【2022 年度実績】

安心な暮らし
01

子どもからお年寄りまでの生活を守る

三沢市民それぞれの年代に応じて、生活の不安を軽減し、
健やかで心豊かに暮らせるよう支援します。

2018 — 維持 — 2022

現状の福祉サービスを守りながら、

介護給付

介護サービスを着実に運営し、
給付額の適正な運用を継続します。

介護認定者のサービス利用率

87.1%	93.0%	98.3%
2016年度	目標値	実績値

障がい者支援

障がい者が安定した生活を送れるよう
支援を継続します。

障がい者からの相談対応率

100%	100%	100.0%
2016年度	目標値	実績値

生活困窮者相談

毎日の暮らしに困っている人に対し、
それぞれの事情に沿った対応を継続します。

生活困窮者からの相談対応率

100%	100%	100.0%
2016年度	目標値	実績値

健康相談

市民が健康状態を知り、相談できる機会を提供します。

相談実施回数

89回/年	89回/年	134回/年
2016年度	目標値	実績値

国民健康保険

保険給付や医療費の適正化に努め、
安定的な制度運営を行います。

被保険者一人当たりの医療費の県平均との比較

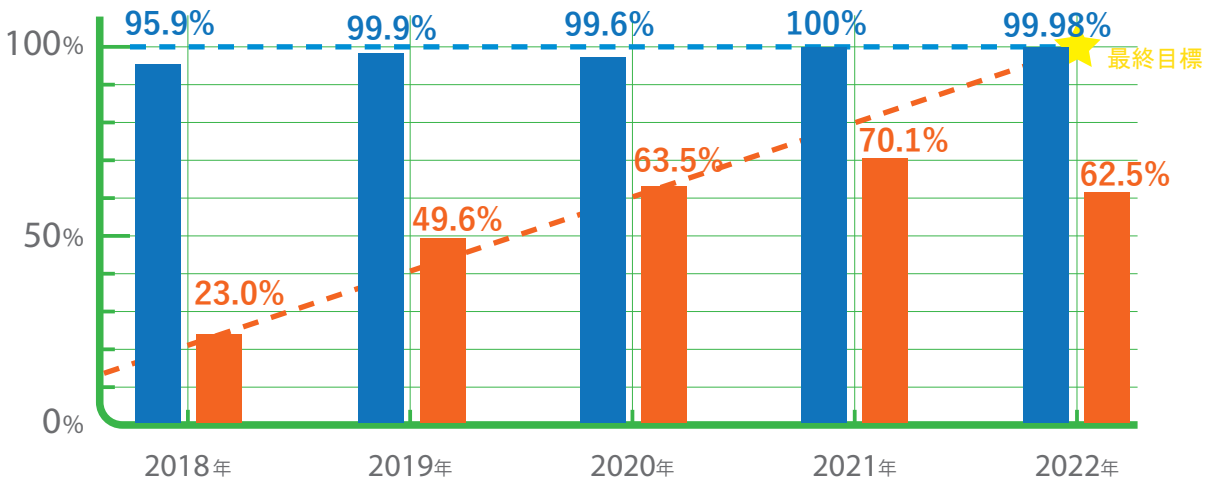
97.1%	県平均以下	県平均を上回った
2015年度	目標値	実績値

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

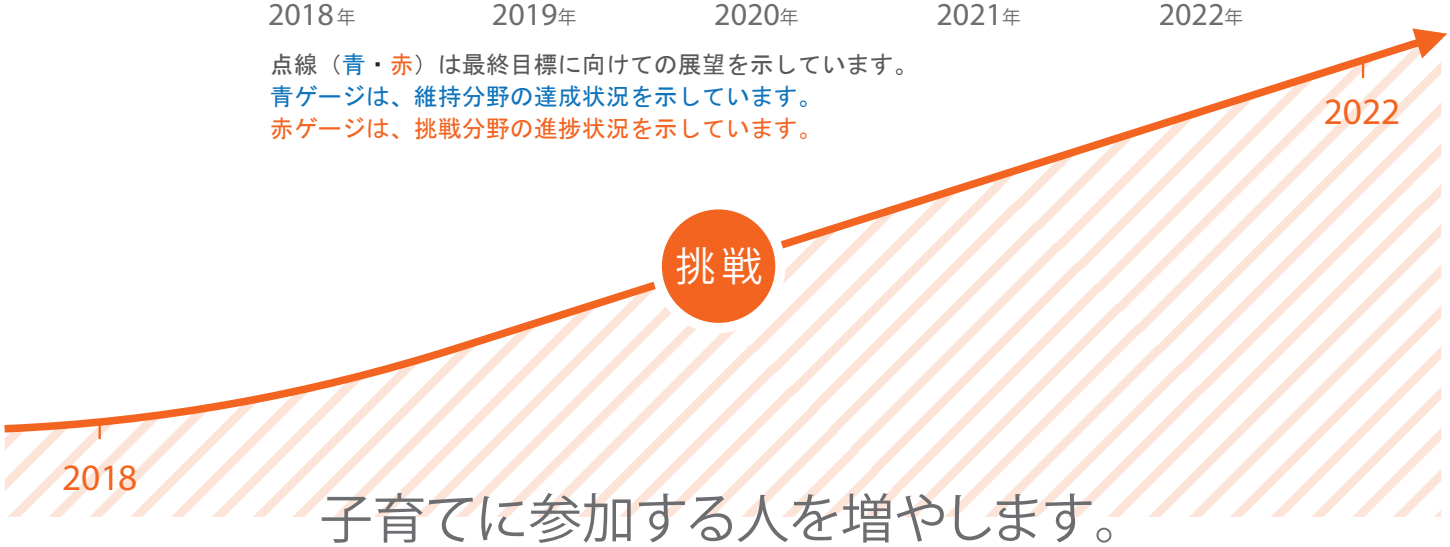
2022年度 特筆すべき事項等

入院、入院外、歯科診療に係る給付及び高額療養に係る給付の件数が増加し、それに伴い医療費が増加した。

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。



子育てに参加する人を増やします。

介護予防

「いきいきデイセンター」の利用や
老人クラブなどへの加入を促進します。

介護予防事業の参加者数（延べ数）

2016年度	目標値	実績値
39,324人/年	45,000人/年	42,251人/年

子育て支援

子育て支援制度を活用した事業を促進します。

子育て支援センター利用者数（延べ数）

2016年度	目標値	実績値
13,417人/年	25,700人/年	42,281人/年

疾病の早期発見

さまざまな疾病の検診受診率を向上します。

各種がん検診受診率(胃・大腸・肺・子宮・乳)

2016年度	目標値	実績値
18.2~30.8%	35.0~45.0%	16.0~27.9%

生活保護

生活保護受給者の生活状況を把握し、
制度に沿った生活を営めるよう支援していきます。

生活保護世帯への訪問率

2016年度	目標値	実績値
60.9%	100%	99.4%

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

介護予防教室の参加者の減少・固定化や、活動の担い手の高齢化により活動団体が減少した。

コロナ禍により、他の人との接触を避けるため各種検診の受診を控えた方が多かったと思われる。

生活保護の受給者が入院中・不在等の理由で面談できなかったケースがあった。

安心な暮らし
02

互いに支えあうまちをつくる

市民の皆さんが安心して暮らせるように、犯罪や事故などの予防など、さまざまな問題の解決に取り組みます。併せて、地域の支え合いや住民同士のつながりを強める地域の活動を積極的に支援します。

2018 — 維持 — 2022

日々の穏やかな暮らしをサポートしながら、

基地対策

航空機騒音や基地関係者による
事件・事故などに対応できる体制を維持し続けます。

特殊な訓練・重大な事件事故の情報提供率

2016年度	目標値	実績値
100%	100%	100.0%

市民相談

市民がかかえる
暮らしのトラブル解消へのサポートを継続します。

市民相談機会の提供回数

2016年度	目標値	実績値
48件/年	48件/年	48件/年

消費者相談

詐欺などの被害を未然に防止するため、
情報提供と相談窓口を提供し続けます。

消費者保護の情報提供回数

2016年度	目標値	実績値
20回/年	20回/年	12回/年

交通安全・防犯対策

警察、母の会等の関係団体と連携し、
安全・防犯意識をさらに高めます。

交通安全・防犯対策の啓発活動件数

2016年度	目標値	実績値
54件/年	54件/年	54件/年

バス交通

バスや電車の利用者に合わせた路線を維持します。

コミュニティバス(みーばす)輸送人員(延べ数)

2013~2016年度の平均値	目標値	実績値
122,399人/年	122,399人/年	94,572人/年

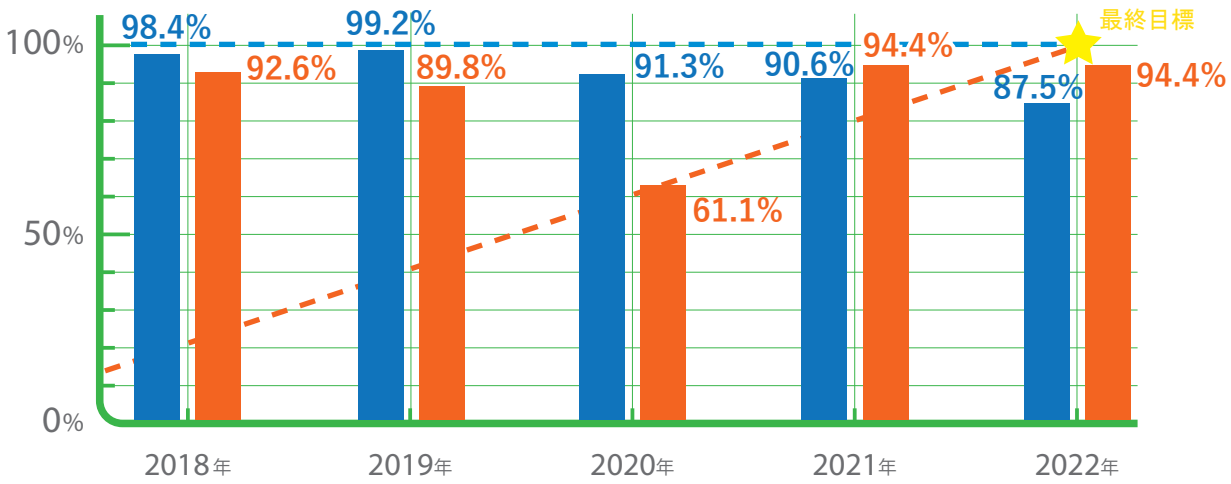
※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

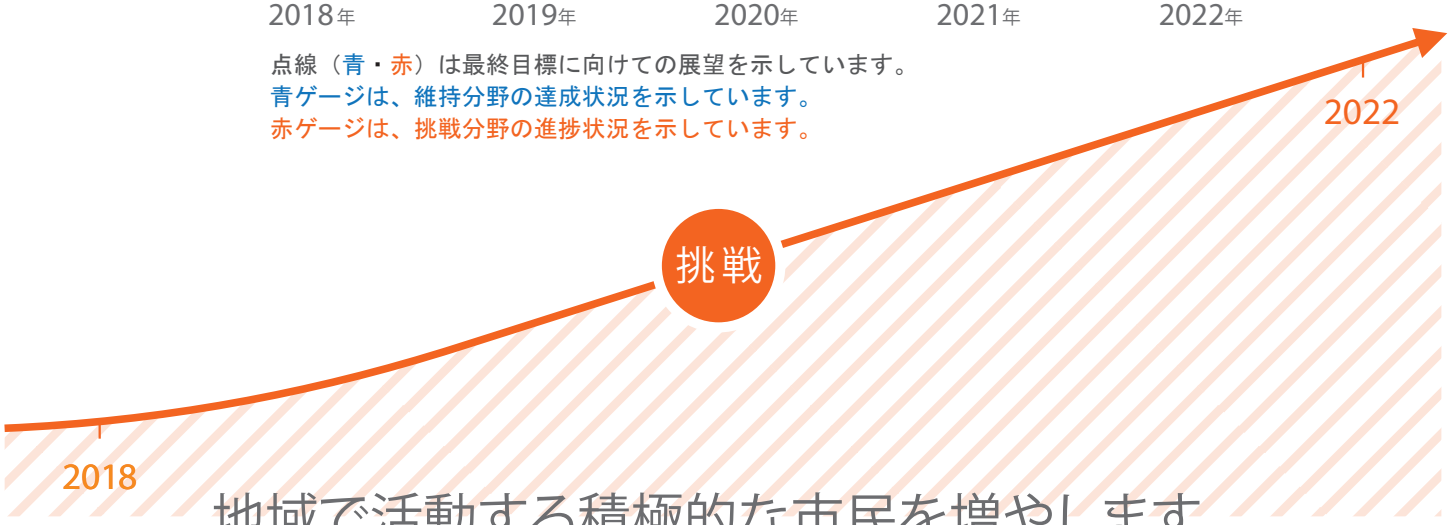
コロナ禍により、社協まつりや敬老会など高齢者向けのイベント事業を中止としたことなどに伴い、情報提供の機会が減少した。

コロナ禍により、外出を控える方が多かったと思われる。

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。



地域で活動する積極的な市民を増やします。

地域活動

市民活動団体を支援することにより、
地域全体の活力向上を図ります。

市民活動団体数

122 団体	125団体	156 団体
2016年度	目標値	実績値

町内会

市民が地域のあらゆる分野で活躍できるよう、町内会等と連携し加入を推進します。

町内会加入の増加件数

0 件/年	10 件/年	15 件/年
2016年度	目標値	実績値

人づくり

地域課題の解決を促進するために、
地域と人をつなげる人材を育成します。

まちづくり市民ファシリテーターの数（延べ数）

- 人/年	18人/年	15人/年
2016年度	目標値	実績値

2022年度 特筆すべき事項等

コロナ禍により、ファシリテーター養成講座を中止した。今後はファシリテーターの養成に限定せず、市民協働のまちづくり講座の内容を検討し、継続していく。

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

安心な暮らし
03

災害や事故から市民を守る

三沢市民の安全・安心のため、火災をはじめとするさまざまな災害に対応する力を高め、
できる限り被害を小さくするとともに、予防に努めます。

2018 — 維持 — 2022

災害への備えを整えながら、

消防訓練

多くの方々が集まる施設を中心に消防訓練を実施し、
防火意識を啓発し続けます。

訓練実施数

2013~2016年度の平均値	目標値	実績値
250回/年	250回/年	427回/年

防災・減災対応

災害時の被害を最小限にするため、
住民と連携した総合防災訓練を継続します。

三沢市全体の防災訓練実施回数

2013~2016年度の平均値	目標値	実績値
1回/年	1回/年	1回/年

予防活動

建物を検査し、違反を速やかに是正することで、
火災を予防します。

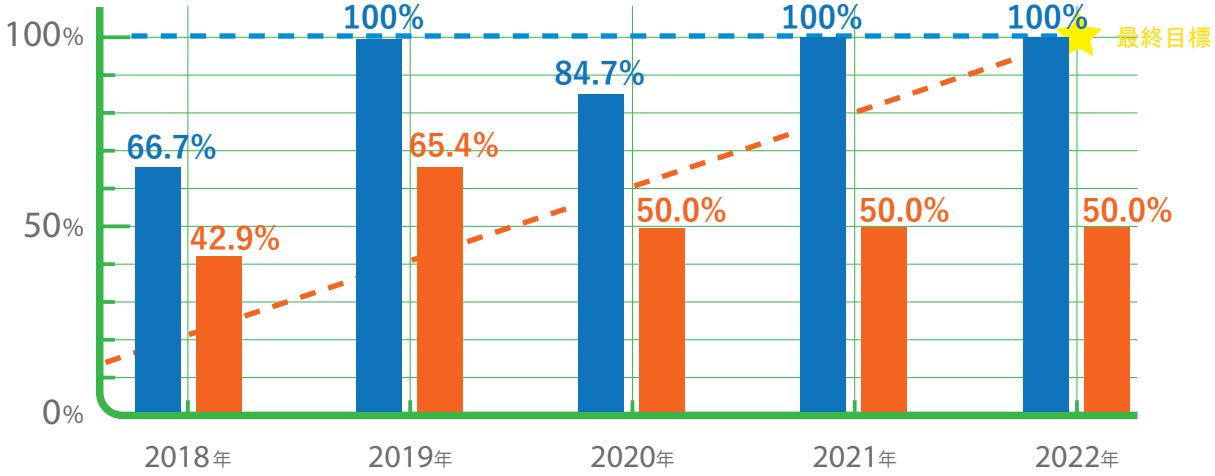
防火対象物・危険物施設の検査実施数

2013~2016年度の平均値	目標値	実績値
500件/年	500件/年	524件/年

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。

互いに助け合う人を増やします。

地域防災

災害への対応力を高めるため、
自主防災組織の結成を進めます。

自主防災組織の組織数

2016年度	目標値	実績値
44 団体	49 団体	51 団体

消防設備

消火栓、防火水槽等の消防水利や消防車、
救急車等の設備を整備・更新します。

消防水利の充足率

2016年度	目標値	実績値
71.4 %	76.0%	76.1 %

救命講習

市民一人ひとりが救命に関する知識を深めることで、
救命率(注)の向上を目指します。

（注）救命率とは、心肺停止状態から蘇生した人の割合

救命講習会受講者数

2013~2016年度の平均値	目標値	実績値
1,502人/年	2,000人/年	717 人/年

消防団

地域防災体制の中心である
消防団員の加入や定着を進めます。

消防団員数

2016年度	目標値	実績値
301 人	320 人	291 人

2022年度 特筆すべき事項等

コロナ禍の感染防止対策により、救命講習会を制限したこともあり、積極的な受講促進が実施できなかった。

コロナ禍により、消防団行事等が中止となるなど、加入促進活動が積極的にできなかった。

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

安心な暮らし
04

充実した医療で市民を守る

三沢市民や近隣住民が安心して医療を受けられる体制を整え、
高度で先進的な医療や利用者の心に寄り添った看護などの良質な医療サービスを提供します。

2018 — 維持 — 2022

病院経営の健全化を図り、

病院利用

さまざまな医療機関と連携しつつ、
地域の中核病院としての役割を果たします。

入院・外来患者数（延べ数）

	2016年度	目標値	実績値
（入院）	64,428人/年	70,080人/年	50,302人/年
（外来）	95,830人/年	99,630人/年	99,128人/年

病院経営

多くの方が安心して医療を受けられるように、
健全な病院経営を維持し続けます。

（注）経常収支比率（%）＝ （医業収益+医業外収益）／（医業費用+医業外費用） ×100

経常収支比率

2016年度	目標値	実績値
92.6%	97.6%	100.2%

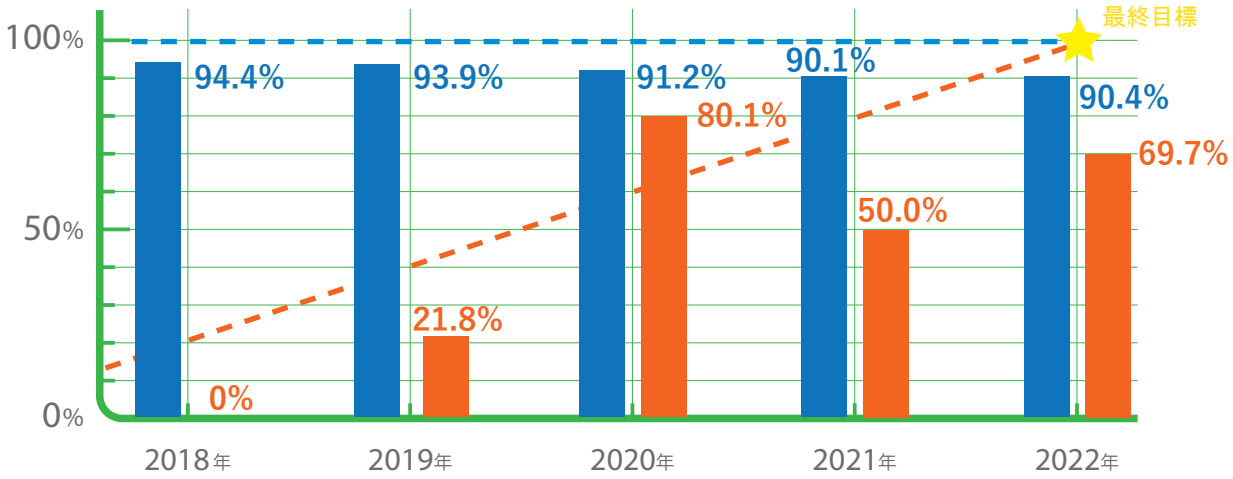
※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

一般病棟1棟をコロナ患者専用病棟とし、一般入院患者受入れの制限を実施した。

コロナ禍により、外来受診を控える方がいたと思われる。また、不急の手術や検査を抑制した。

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。

良質な医療サービスを提供します。

人材確保

医師や看護師などの人材を確保し、
更なる医療体制の向上に努めます。

市立三沢病院の職員数

261人	276人	290人
2016年度	目標値	実績値

高度医療

PET-CT検査(注)の利用促進を図り、
がんの早期発見、早期治療につなげます。

（注）PET-CT検査とは、特殊な薬剤を注射し、その体内の分布を特殊なカメラで映像化する診断法。
早期の小さながんの発見や部位の正確な特定などの診断が高い精度でできる。

PET-CT検査件数

1,037人/年	1,200人/年	1,101人/年
2016年度	目標値	実績値

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

コロナ禍により、PET-CT検査（不急）を制限したため、件数が減となった。

快適な暮らし
05

きれいな水と自然を守る

生活になくてはならない大切な水の安全性を守るとともに、水資源の保全に努めます。

維持

2018 — 2022

水の安全と自然環境を守りながら、

管理体制

訓練や点検を実施し、
災害などの場合に素早く対応できる体制を整えます。

公害対策

公害の発生状況を監視し、
その対策を継続します。

ごみの処理

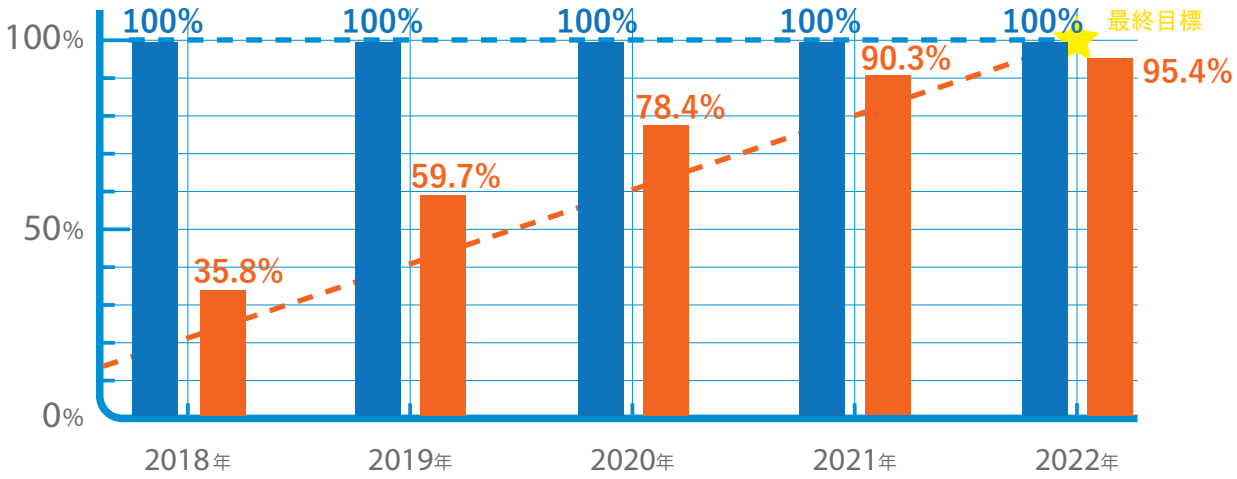
ごみ処理の方法について情報発信し、
不法投棄の防止を啓発し続けます。

	2016年度	目標値	実績値
民間企業との会議・訓練回数	1回/年（2013~2016年度の平均値）	1回/年	1回/年
公害に関する苦情等への対応率	100 %	100 %	100.0 %
不法投棄の啓発活動件数	10件/年	10件/年	10件/年

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。

環境を思いやる人を増やします。

下水道

下水道に接続できる地域を広げます。

下水道普及率

76.2 %	83.1 %	85.5 %
2016年度	目標値	実績値

水洗化

下水道に接続する戸数を増やします。

下水道を使える人のうち実際に使っている人の割合

84.8 %	87.6 %	89.4 %
2016年度	目標値	実績値

水道施設

老朽化した施設や設備を見直し、
安全な水を届けます。

水道管の耐震化率

38.7 %	45.9 %	44.9 %
2016年度	目標値	実績値

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

人件費、資材単価の高騰等により、工事費が増加したため整備延長が伸びず、目標値に達しなかった。

快適な暮らし
06

道路・建物・公園を使いやすくする

三沢市民が安全で便利な暮らしを送れるように、道路や建物、
憩いの場としての公園等を作ったり直したりします。

2018 — 維持 — 2022

生活道路を維持しつつ、

生活道路

住宅街などの身近な道路を安全に通行できる
状態を保つため、維持管理を継続します。

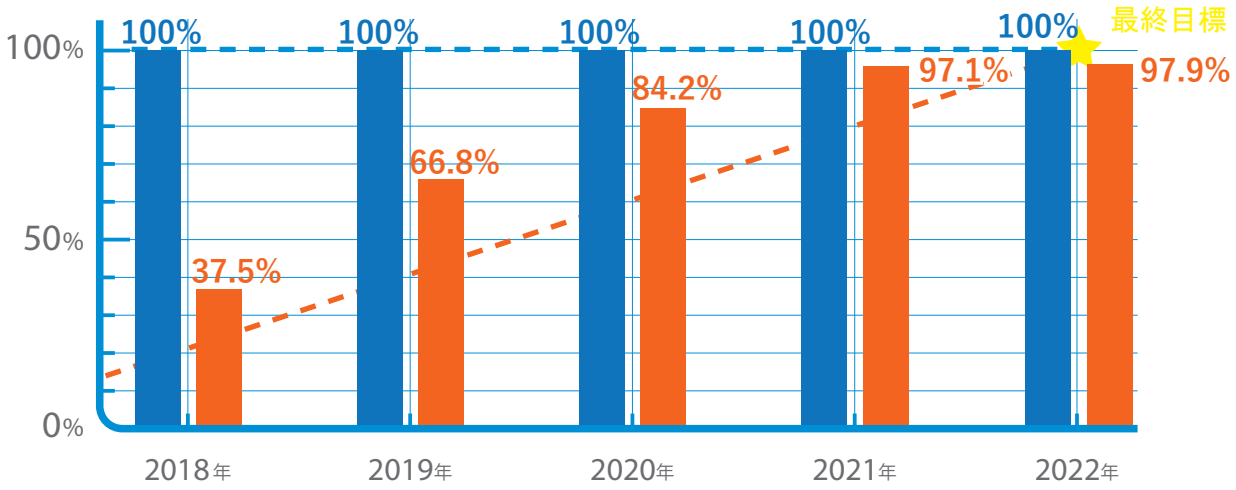
道路に関する相談・苦情の対応率

100 %	100 %	100.0%
2016年度	目標値	実績値

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。

道行く人や公園を利用する人を増やします。

道路整備

地域の主要な道路の安全性や利便性を確保するため、整備を進めます。

市道の舗装率

2016年度	目標値	実績値
81.0%	81.9%	82.7%

歩道整備

歩行者の利便性や安全性を向上させるため、歩道の整備を進めます。

整備した歩道延長

2016年度	目標値	実績値
83.3km	89.3km	88.8km

公園整備

憩いの場である公園が、安心かつ安全であるように整備を進めます。

安全に使える公園施設の割合

2016年度	目標値	実績値
80.7%	85.5%	86.8%

公営住宅

対象となる方が安全な住まいを確保できるように、予防保全型の管理(注)を行い、公営住宅を維持します。

(注) 予防保全型の管理とは、損傷や劣化が進行する前に適切な対策を行う管理のこと

良好な公営住宅戸数率

2016年度	目標値	実績値
85.5%	94.1%	96.8%

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度特筆すべき事項等

市道整備事業において、買収計画地に複数人の共有地があり、相続人調査や用地交渉に長期間要しており、用地買収が難航したため。

快適な暮らし
07

まちの家計を守る

三沢市民が納めたお金を効果的にやり繰りします。
収入を保ち、財布の中を減らすことなく計画的な支出を行い、三沢市の家計を維持します。

2018 — 維持 — 2022

赤字にならないように備えながら、

財政運営

健全な財政運営を維持し、
公債費(注)の抑制に努めます。

(注) 公債費とは、自治体が借り入れた地方債の元利償還費と一時借入金の利息の合計

実質公債費比率(注)

2016年度	目標値	実績値
11.1%	18%未満	9.7%

(注) 実質公債費比率とは、自治体の収入に対する負債返済の割合

納税手段

市税の口座振替など、
さまざまな納税手段を維持します。

口座振替加入率

2016年度	目標値	実績値
24.9%	24.9%	28.9%

公有財産

未利用の公有財産の活用を進め、
財源を確保します。

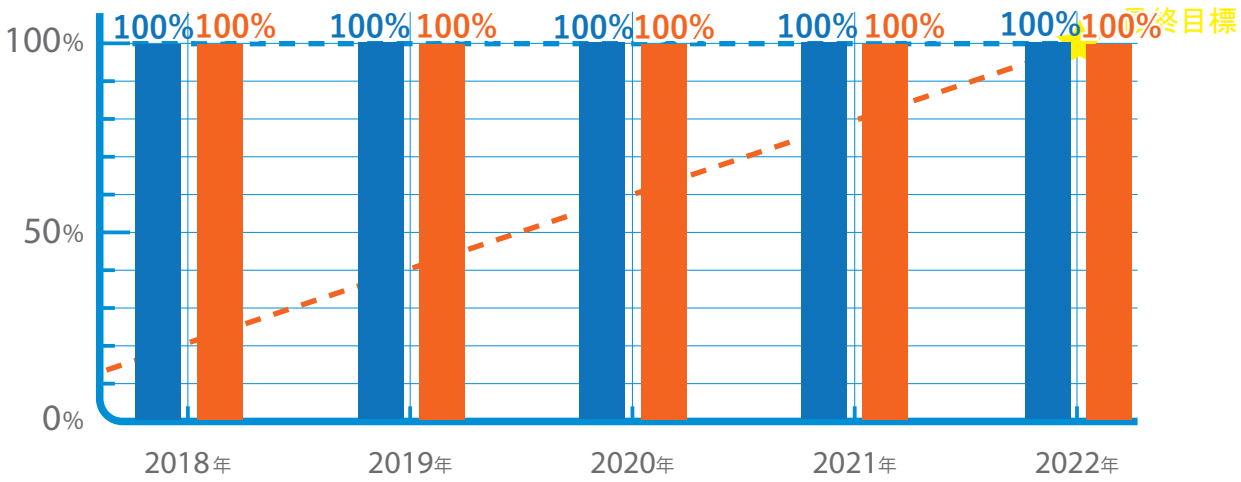
普通財産の使用率

2016年度	目標値	実績値
24.1%	24.1%	34.0%

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。

公平に税を集めます。

市税収納

市税の収納率を青森県平均以上にします。

収納率

94.3%	95.1%	97.4%
2016年度	目標値	実績値

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

豊かな暮らし
08

みんなが学べるまちをつくる

子どもからお年寄りまで三沢市民がいつでも学ぶことができる環境を整え、
誰もが多くの学びに触れられるようにサポートします。

2018 — 維持 — 2022

教育・文化・スポーツ基盤を守りながら、

教育施設

施設の老朽化対策・安全対策・衛生管理をし続けます。

市内教育施設の改修進捗率

2016年度	目標値	実績値
100%	100%	100.0%

教育相談

不登校児童・生徒向けの相談体制を維持し続けます。

教育相談への対応率

2016年度	目標値	実績値
100%	100%	100.0%

文化

三沢市公会堂など文化活動の
拠点を維持し続けます。

文化施設の利用者数（延べ数）

2016年度	目標値	実績値
193,616人/年	193,616人/年	100,878人/年

スポーツ

運動施設を拠点とした
スポーツ活動を支援し続けます。

運動施設の利用者数（延べ数）

2016年度	目標値	実績値
314,271人/年	314,271人/年	235,746人/年

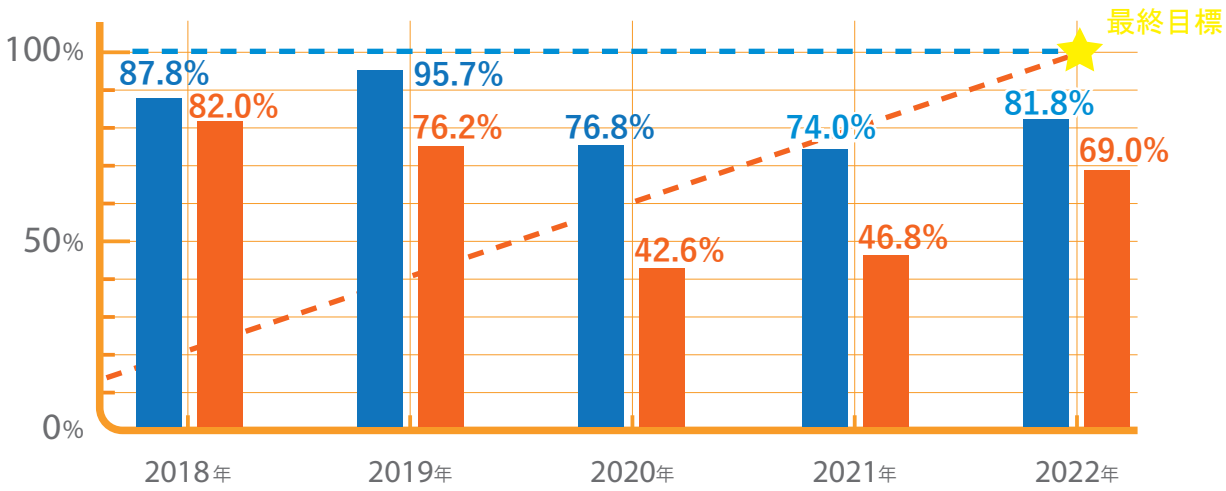
※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

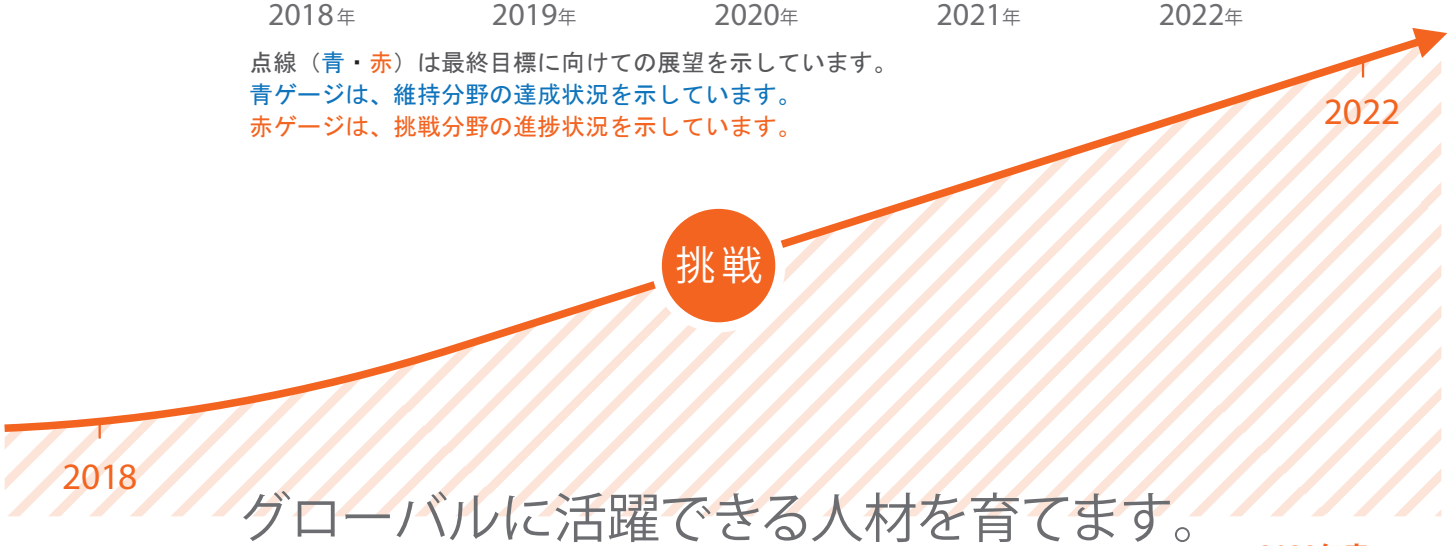
コロナ禍による文化施設の利用制限は緩和されたものの、イベント事業の開催回数が減少したままであった。

コロナ禍により、ワクチン接種会場となった施設の利用が制限され、各種大会等の利用ができなかった。また、他の施設での大会が少なかった。

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。



グローバルに活躍できる人材を育てます。

グローバル人材

三沢市の特徴を活かした
グローバルな学びの機会を提供します。

グローバル人材育成事業参加者数（延べ数）

2013~2016年度の平均値	目標値	実績値
49人/年	66人/年	39人/年

2022年度 特筆すべき事項等

コロナ禍により、姉妹都市への使節団及び英語研修の派遣を中止したが、オンラインを活用したグローバル&ダイバーシティキャンプを実施し、交流を図った。

地域ぐるみの教育

地域の人材のネットワーク化と
学びの場づくりを支援します。

地域と学校との協働活動参加者数（延べ数）

2016年度	目標値	実績値
-	12,600人/年	9,568人/年

コロナ禍により、部活動や職場体験、絵画教室、立志式等の行事等が縮小となった。

英語教育

市内小中学校の英語教育を推進します。

中学校3年生での英語検定（3級以上）取得率

2016年度	目標値	実績値
28.1%	39.0%	47.2%

教育力

小中学校教員の指導力向上のための
研修などに参加します。

研修参加達成率

2016年度	目標値	実績値
72.0%	74.0%	103.0%

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

豊かな暮らし
09

まちの景気を良くする

市内で生み出される商品やサービスの付加価値の向上を支援します。
さらに、市外からの収入を増やすとともに、地域内への投資を増やすなどの取り組みを行います。
また、三沢で働く方々が、働きやすい環境づくりに取り組みます。

2018 — 維持 — 2022

第一次産業や地元企業を守りながら、

地場産品

三沢市の地場産品の市外への販売を支援し、
知名度向上や顧客獲得を推進します。

展示会等のイベント出店・支援件数

2016年度	目標値	実績値
8件/年	8件/年	3件/年

2022年度 特筆すべき事項等

コロナ禍により、イベントが中止となったため、試食試飲など、これまでのような販売促進活動が十分にできなかった。

観光

観光コンテンツの開発とブラッシュアップを図り、
宿泊を伴う体験型などの観光を推進します。

市内観光施設利用者数（延べ数）

2016年度	目標値	実績値
1,028,513人/年	1,028,513人/年	742,151人/年

コロナ禍による施設の休館はなかったが、人流制限がなされており、観光需要自体が減退していたため、市内観光施設利用者数も少なかった。

商業

三沢市の魅力が発揮される
商店(街)の振興に取り組みます。

中心市街地の歩行者数

2016年度	目標値	実績値
408人/日	408人/日	117人/日

コロナ禍により、店舗が閉店してしまったり、購買手段がネットショッピングへ移行したことが影響していると思われる。

労働環境

労働環境の改善によって
雇用を維持・確保し続けます。

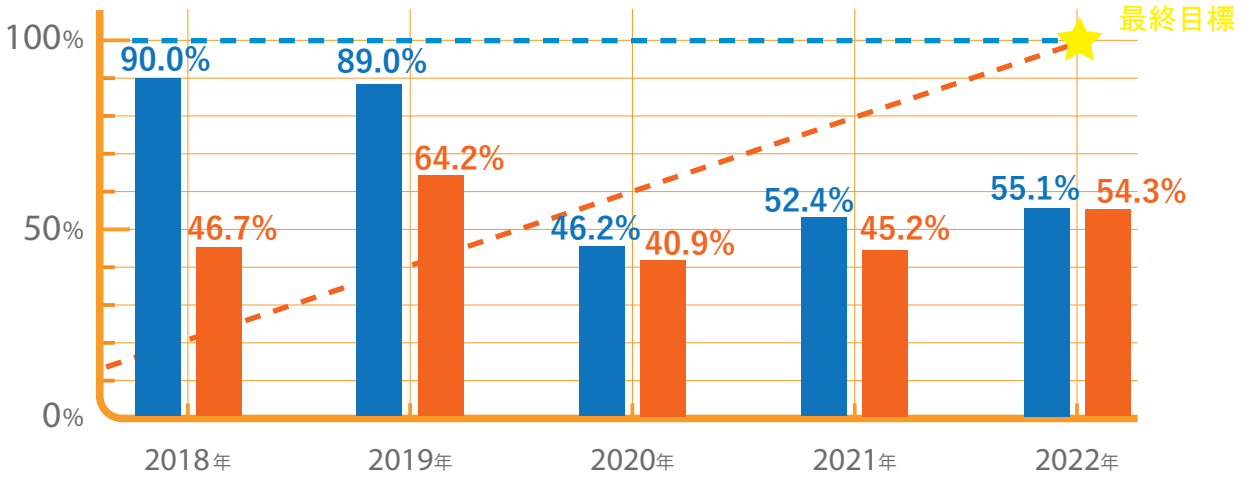
個人・企業向けセミナー参加者数

2016年度	目標値	実績値
106人/年	106人/年	87人/年

コロナ禍により、多くの人数が集まる研修会への参加を控える傾向があったと思われる。

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

政策の達成率



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。

三沢の良さを理解して伝えられる人を増やします。

農業

農地を使いやすいようにまとめることで、
効率的な農業経営を支援し続けます。

担い手への農地集積率

2016年度	目標値	実績値
49.8%	65.0%	60.7%

漁業

三沢市魚市場の高度衛生化を図り、三沢産水産物の
品質と魚価の向上を引き続き目指します。

主力魚種の魚価

2016年度	目標値	実績値
491円	516円	631円

※主力魚種：スルメイカ、ほっき貝、ヒラメ

ブランド化

三沢市の農水畜産物のブランド化を推進し、
付加価値を高めます。

ブランド化した農水畜産物数

2016年度	目標値	実績値
3件	5件	3件

起業

資金調達や商品開発などを支援し、起業者を育成し
ます。

新規起業件数(延べ数)

2016年度	目標値	実績値
5件/年	11件/年	11件/年

三沢空港

県外との往来者を増やします。

三沢空港発着便の平均搭乗率

2016年度	目標値	実績値
69.7%	72.8%	66.9%

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

国の助成金制度（経営所得安定対策事業）の交付要件見直しに伴い、大口の借り手農業者の解約が多数発生し、担い手の耕作面積が減少した。

コロナ禍により、ブランド化に向けた展示会やイベントが開催されず、PR活動ができなかった。

搭乗率は回復傾向にあるものの、未だにコロナ禍の影響はあったものと思われる。

豊かな暮らし
10

質の高い行政サービスを提供する

三沢市役所で働く職員が個々の能力を伸ばすことで、仕事の質を落とさずに無駄を省くとともに、職員が安心・満足できる職場をつくります。

2018 — 維持 — 2022

時代に対応した新しい取り組みを続けながら、

広域連携

これまでの枠にとらわれず、
近隣の市町村との連携を継続していきます。

定住自立圏で実施した事業数

2016年度	目標値	実績値
31件	32件	34件

情報管理

個人情報などの重要な情報が漏洩しないよう
情報を管理し続けます。

情報漏洩件数

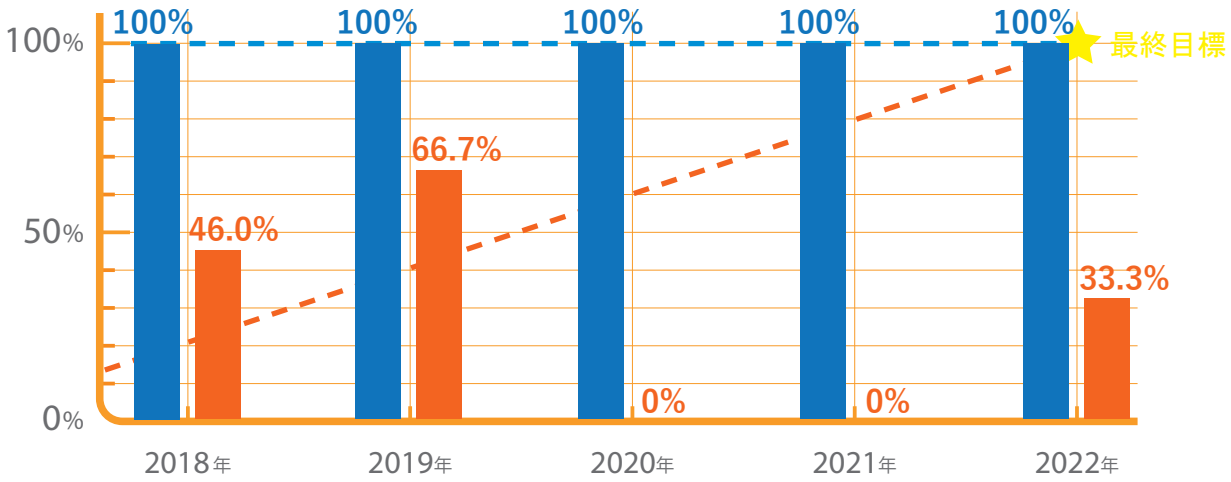
2016年度	目標値	実績値
なし	なし	なし

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

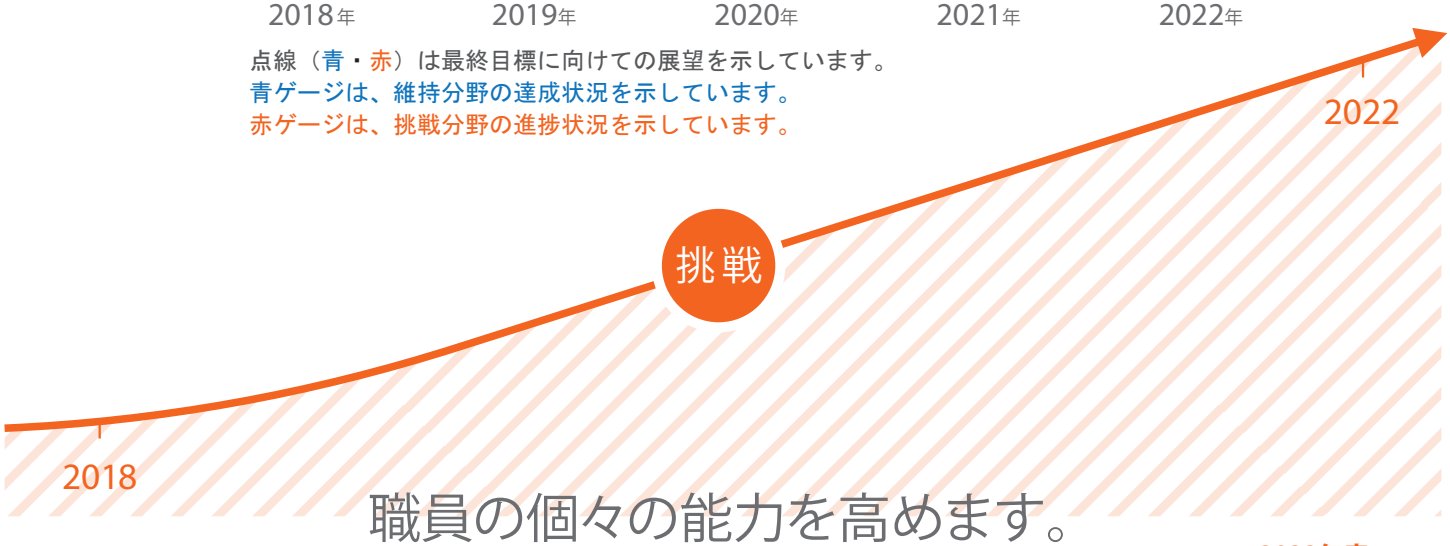
2022年度 特筆すべき事項等

政策の達成率

数値は毎年度、市のホームページで公表します。
この数値を40、41ページのレーダーチャートに記録しましょう。



点線（青・赤）は最終目標に向けての展望を示しています。
青ゲージは、維持分野の達成状況を示しています。
赤ゲージは、挑戦分野の進捗状況を示しています。



職員の個々の能力を高めます。

能力開発

研修をとおして能力開発を行い、
業務時間を短縮することで効率を高めます。

外部機関の研修受講者数（延べ数）

96人/年	110人/年	131人/年
2016年度	目標値	実績値

窓口対応

さまざまなニーズを持つ来庁者のために、
職員の窓口対応力を高めます。

接遇に係る研修受講者数（延べ数）

622人/年	730人/年	83人/年
2016年度	目標値	実績値

ワーク・ライフ・バランス

市職員が仕事と生活のバランスをとれるような
環境を維持します。

時間外勤務時間

13,625時間/年	12,000時間/年	16,016時間/年
2016年度	目標値	実績値

※実績値の青字は達成、赤字は未達成

2022年度 特筆すべき事項等

研修実施を予定していた年末から年度末にかけて、市内の農場で発生した鳥インフルエンザの対応のため研修を実施できず、その後の日程調整もできなかった。

新型コロナや鳥インフルエンザに係る業務が生じ、夜間や休日に対応を行ったため。

レーダーチャート

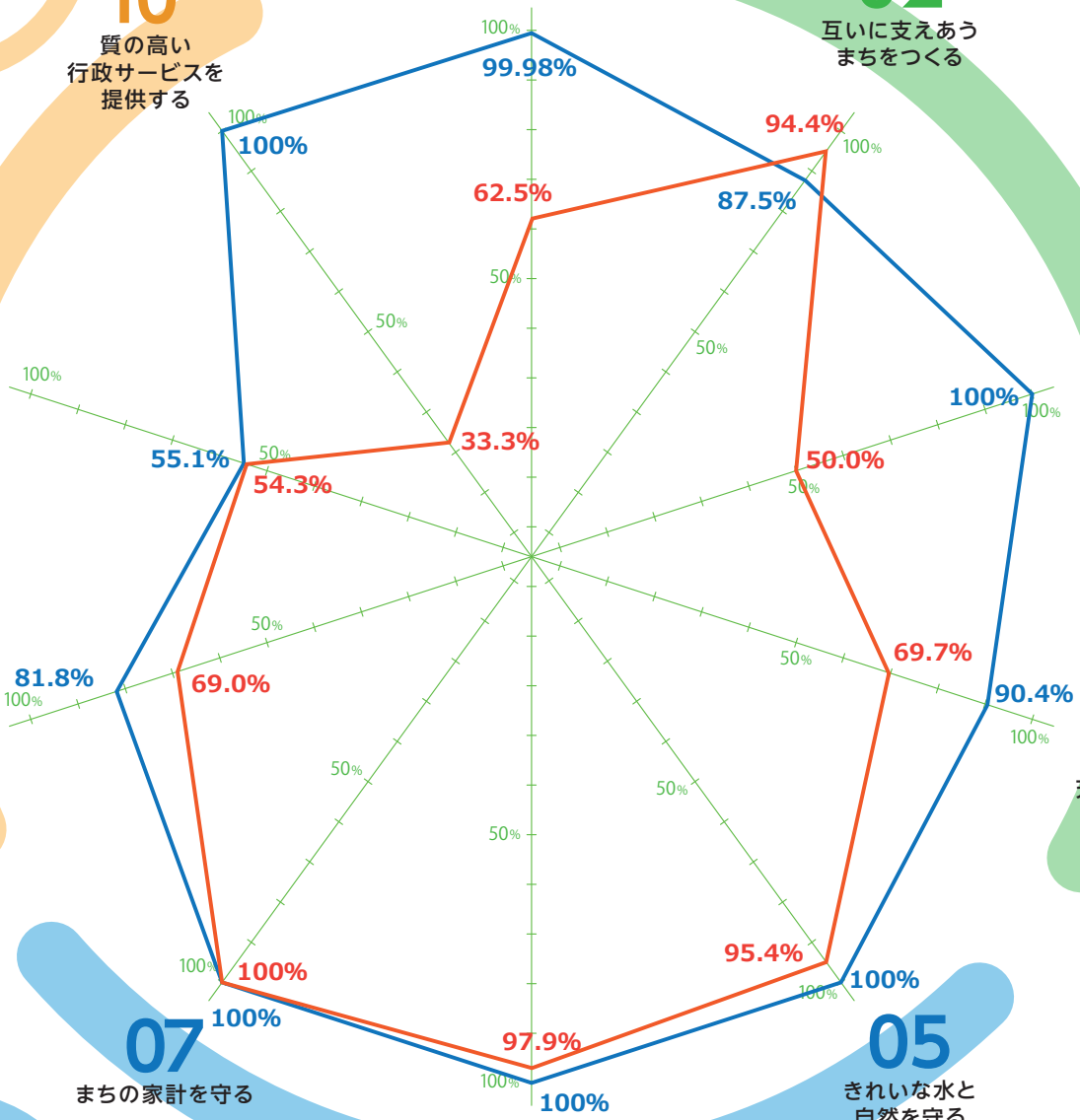
維持の達成度　挑戦の進捗度

安心な暮らし

平穏無事な毎日の生活が
ずっと続きますように。
子どもからお年寄りまで
安心できる暮らしを守ります。

豊かな暮らし

10年先も、その先も日々の
暮らしが豊かになりますように。
学びや仕事をとおして
心も生活も満たされる
まちを目指します。



快適な暮らし

毎日が心地良く過ごせますように。
成熟した社会にふさわしい、
快適な暮らしができる
まちを築きます。

評価基準

維持	挑戦					評価
	2018 H30	2019 R元	2020 R2	2021 R3	**2022 R4**	
100%	20%以上	40%以上	60%以上	80%以上	**100%**	**政策を実現できた**
70%以上	14%以上	28%以上	42%以上	56%以上	**70%以上**	**政策をほぼ実現できた**
50%以上	10%以上	20%以上	30%以上	40%以上	**50%以上**	**政策をおおむね実現できた**
30%以上	6%以上	12%以上	18%以上	24%以上	**30%以上**	**政策をあまり実現できなかった**
30%未満	6%未満	12%未満	18%未満	24%未満	**30%未満**	**政策をほとんど実現できなかった**

※維持分野は、毎年度 100%を目指します。
※挑戦分野は、５年間で 100%を最終目標に、毎年 20%の進捗を目指します。